

碧水だより



—めざす子ども像—

・仲よくする子、かしこい子、たくましく生きる子

平成18年11月30日 第7号

阿蘇市立碧水小学校 羽山

12月行事予定表

日	曜	校内の行事	給食
1	金	準備(5・6限)	○
2	土		×
3	日	碧水フェスティバル(弁当)	×
4	月	振替休業日	×
5	火	歴代PTA会長会	○
6	水	職員会議・熊本県学力調査	○
7	木		○
8	金	三校会 熊本県学力調査	×
9	土		×
10	日		×
11	月	委員会活動	○
12	火	音楽集会	○
13	水	校内研修	○
14	木	6年生薬物乱用教室	○
15	金	授業参観 学級懇談会 給食試食会	○
16	土		×
17	日		×
18	月		○
19	火		○
20	水	校内研修会	○
21	木	人権集会	○
22	金	終業式	×
23	土	天皇誕生日 郡市ミニバスケットボール審判講習会	×
24	日		×
25	月	冬季休業日	×
26	火		×
27	水		×
28	木	仕事納め	×
29	金		×
30	土		×
31	日	大晦日	×

1月の予定

9日始業式

16日音楽集会

夕食時にテレビを消してみよう

食事のとき常にテレビが付いている家庭がありません。

食事は家族が向き合っ楽しく会話ができる貴重な時間です。

食事のときにちょうど見たい番組を放送している場合もあるでしょうが、食事中はテレビを見ないという習慣は大切です。

まずは『夕食時のテレビを消す』ことから始めてはいかがでしょうか。

数日もすれば、会話や遊

びを工夫するようになり、子どもたちが持っている素晴らしいさを再確認するはず。つらいのは、子どもではなく、大人：かも？！

児童館まつりが行われました

児童館まつりが十一日に行われました



あいにくの雨で参加者の

出足が心配されましたが、一年生から六年生までの約三十名が来てくれました。はじめに佐藤教頭による人権ライブやゲームを通して



P・T・Aの家庭教育講演会が開かれた

阿蘇保健所の石井課長さんが「親子で考えよう食育」という題で講演しました。

講演に先立ち本校の食育担当である塚教諭が学校で行っている食育の取組について紹介しました。

- ① 食育アンケートの結果の説明
- ② 給食指導としての残滓ゼロの取組み
- ③ 農業体験の取組み
- ④ 食育通信「ばくばくたより」の発行
- ⑤ 給食委員会による給食黒板や人形劇の取組み

石井課長の講話では自身の栄養士としての経験から、食べることが単に健康だけでなく人間としてのあり方と密接に結びついていること、「なぜ今、食育が大切なのか」などわかりやすく、いねいに話をしていただきました。

また「身につけたい五つ

した。坂本くんは「きよら亭うどん」の芸名でいろいろな舞台に出ているだけに見事な話しを聞くことができました。



- ① 食べ物を選択する能力
- ② 味がわかる能力
- ③ 料理する能力
- ④ 食べ物の育ちを感じる能力
- ⑤ 元気な体のわかる能力

会場には保護者や保育園の保育士さんなど六十名以上の参加があり熱心に聞いておられました。

また教師である我々にとっても、教えることや育てるといふことについてたくさんの示唆を与えていただきました。

テレビ番組の視聴が子どもの成長を阻害する

子どもたちがテレビやビデオを視聴する場合、一人で画面に向き合い、一方的に投げ出されてくる光と音の刺激を受けとめていることがほとんどです。その時間が長ければ長いほど、母親や家族との情緒の交流、言葉のやりとりは少なくなります。

こうした子どもたちが幼児期から学童期にかけてテレビゲームにはまっていくと、コミュニケーション能力は未発達のままとなってしまう、友だちと意見が衝突したり、利害が対立した

りしたとき、暴力という形でしか自己表現ができないは家庭になくはならない

乳幼児期からビデオを一人で一日に長時間（二〜五時間）視聴した三歳児の場合

- ① 友だち関係が持てない
 - ② 遊びが限られている
 - ③ 表情が乏しい
 - ④ 気持ちを通わない
 - ⑤ 積み木などを何かに見立てて、想像して遊ぶことができない
 - ⑥ 自分から話しかけようとしない
 - ⑦ ほかの子どもが近寄ると避ける
 - ⑧ 視線が合わない
 - ⑨ 「ごっこ遊び」をしない
- などの共通する特徴があるとされています。

子どもとなってしまう危険性があります。日本でもテレビ放送がはじ

間だけでなく、子供部屋にもテレビを置く家庭もあり

人生の素晴らしさを教えていますか？

子どもたちは「早くおとなになりたい」と思っているのでしょうか。

「おとなになりたいくない」という子どもがとても多いそうです。

その原因として大人になることが魅力的で楽しいとはどうも思えないというのです。

生きることの喜びや素晴らしさ、希望を子どもたちは大人から感じとっているでしょうか。大人が人生のすばらしさや楽しさをもっと子どもに積極的に伝えましょう。

毎日の生活で、不平や不満、他人の悪口や愚痴を子どもの前で話してないでしょうか。

そうすると子どもは大人になる楽しさや素晴らしさを感じ取れず、人生が楽しいとか魅力的だと思えなくなるそうです。

また大人の笑顔を子どもたちにたくさん見せてあげること大切です。

生きていくことの喜び、楽しさ、素晴らしさを笑顔という形で見せる、そのような大人の姿勢こそ大切ではないでしょうか。

子どもの顔を毎日しっかりと見ているか？

子どもだけに、子供がテレビとどう関わりながら生活するのか、家庭教育の大きな課題です。テレビは私たちの生活を豊かにしてくれます。しかし、「功」だけでなく、「罪」にも配慮したつき合いが必要なメディアです。キレイやすかつたり、現実感に乏しい青少年が多くなっているのは、映像メディアの影響だと指摘する専門家がいます。

子どもの顔を毎日しっかりと見ているか？

子どもの表情の変化を的確にとらえるためにはしっかりと子どもの顔を見ることから始めて欲しいと思います。

いじめや悩みがあれば、毎日見ていればその変化に気づくはずです。

私たち教師も反省しなければなりません。忙しさや慌ただしさを理由にして子どもの表情をていねいに見ることを怠ってはいませんか。

いじめや自殺の問題を解決するには、まず第一に子

碧水フェスティバルを実施します
期日は十二月三日(日)午前十時四十五分からです。

会場は碧水小学校体育館です。

当日は阿蘇中学校吹奏楽部演奏に始まり、各学年の合奏や合唱、学習の発表、保育園児や保育園職員の演奏や歌、PTA有志の合唱、職員による合奏、阿蘇ふれあい太鼓演奏などが行われます。

展示の部では、地域の方々の油絵や日本画、生け花、切り絵作品、わら細工、写真、短歌や俳句、ちぎり絵、パッチワーク、エアブラシ作品などが展示されます。児童の作品もたくさん展示します。

今年初めての試みです、是非たくさんの方のおいでをお待ちしております。

孤食や朝の欠食などの食生活

子どもがしっかりと愛されていると実感していることが大事であると言われます。家庭や学校の信頼関係の中で、子どもたちが自分の居場所があるという実感していれば、いじめたりいじめられたりするとはなくなると思います。

孤食や朝の欠食などの食生活を、日頃から子どもに送らせても気にならない家庭では、食べることもそのものが大切にされていないと言えるのではないのでしょうか。

だからこそ、意識的に家族で食べる空間を大事にし、週に二・三日あるいは週末だけでも、安心して自分の気持ちを表せる包容力のある食の空間を保つようにしましょう。